

2022年7月17日

オミクロン BA5 変異株による第7波へ

☆全体の感染傾向

全国的に感染激増、多くの地域で過去最多を記録、全国の感染者数 16 日に 11 万人を超え最多更新

東京では 7 月 7 日の東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議において国立国際医療研究センター国際感染症センター長の大曲貴夫氏が今週時点の増加比 188%が今後も続いた場合、新規陽性者数は 7 月 20 日には 1 万 5534 人に、8 月 3 日には 5 万 4902 人となると発表しています。しかし、14 日時点でこの数をこえ、8 月半ばには東京都だけで 10 万人を超える予想もあります

☆医療への影響

ほぼすべての発熱外来では受診者数が激増し、受診予約は数分で埋まる施設もでています。陽性率も上昇し、ほとんどの外来で 50%を超えています

東京都の年齢別感染者数では 10 代以下が最多ですが、すでに 20 代、30 代もほぼ同数となり、すべての年代での感染者数が増加、差が小さくなっています

まだ国、県ともに医療は逼迫していないとされていますが神奈川県的主要な病院の一つはすでに全病床が満床で、良性疾患の診療、検査予約などを待機するようになっています。

重症者は増加していない、とされていますが、発表される重症者とは新型コロナ感染症による重症の肺炎を有する人のみをカウントしています。実際には新型コロナ感染(軽症、中等症でも)をきっかけに心臓や他の疾患が悪化し重症化、集中治療を要するようになっても新型コロナによる重症例とはカウントされないのです

☆オミクロン BA5

感染拡大の原因ウイルスはオミクロン BA5 です

感染増加の原因は BA5 株は免疫を潜り抜けるなどのためにかこのオミクロン株と比較して 1.3 倍程度の感染性増加があるためとされています。しかし、感染者の増加はその程度をはるかにこえています。私見ですがむしろ地域としての感染防御体制、特にマスク使用の緩和や飲食店での人数、時間制限の撤廃が大きく影響していると考えています。前述の病院では職員の宴会による集団感染が発生したこともあり、職員に家族以外の人との会食が人数にかかわらず禁止となりました。行動制限令は出ていませんがこれも時間の問題でしょう。

BA5 については非常に気になる報告があります。もともと感染性、病原性ともに BA1、BA2 の 1.2 倍程度いわれていました。最新の東大からの報告では他のオミクロン株とは異なり肺胞での増殖が認められ、重症化につながるということです。人の肺胞細胞や動物の実験データであり、まだワクチン接種の効果も検証されていません。しかし、もしこの報告どおりとすればデルタ株など同様の重症化率となり、今までのオミクロン株より高くなります。

感染率が高く、重症化率が高ければ非常に多数の重症者を発生し、医療の継続が危ぶまれます。感染しないことが重要です。幸い 4 回目ワクチン接種も感染防止にもある程度は有効とされています。

☆剣道関連

剣道関連の感染報告でも密を回避していない大会で集団感染が発生しています

個々の感染報告数も全国的に増加へ転じている印象があります。全剣連 HP での報告をご参照ください。

感染を防ぐことは十分可能です。剣道の稽古、講習会、審査、大会などは守るべきことを厳守しながら実施しましょう。

一般日常生活でもマスク使用の順守、帰宅時のうがい、手洗い励行、3 密回避、家族以外との会食をしない、マスク着用時でも会話は 1m の感覚を取る、などを守ってください

マスク(特に不織布マスク)について感染防御に大変有効です。米国での 100 万人を超える小児のデータでもその有効性が証明されています。またマスクにより熱中症が発生するような報道がなされていますが救急医学会はそれは根拠がないと公式に発表しています(参照 1)。県剣道連盟の HP でも以前実験データをお示したように、マスクの有無による身体状況の差は認められていません

剣道実施時に守るべきこと(厳守)

・密をさけてください。

どの程度の広さで何人の参加であればいいのかというデータはありません。下記の人と人の間に距離をとれることが一つの目安になります。神奈川県立武道館の剣道場では 4 面の試合場が取れますが同時期に参加できる人数は 200 人未満に設定されています。しかし、実際にこの人数を剣道場でみるとかなりの密が場合により発生します。試合場 1 面の広さ当たり 50 人はやはり多すぎる感じがします。40 名程度までに抑えていただきたいと思います。

・稽古時など実技にさいしては全剣連ガイドラインを守ってください

・面マスクは面着用の直前につけてください。それまでは不織布マスク着用してください

・実技中以外は他の人と距離を取ってください。最低 1m、可能ならば 2m 以上

整列時は横両手間隔、前後 1m をお願いします

・稽古その他の活動の最中、前後は会話は極力控えてください、懇親会などは絶対に慎んでください

マスクで熱中症リスクに「根拠なし」 救急医学会など公表

2022年7月16日(土)配信毎日新聞社

新型コロナ:新型コロナ マスクで熱中症リスクに「根拠なし」 救急医学会など公表

日本救急医学会などは15日、新型コロナウイルス流行下の熱中症診療に関する手引を公表し、「マスクの着用が熱中症のリスクとなる根拠はない」と明らかにした。マスクを外すことで息苦しさは軽減されても熱中症予防にはならないとして、主に部屋の換気やエアコンの活用、水分補給などを行うよう呼びかけた。

学会などは、熱中症と新型コロナとの関連を調べた国内外の文献を分析。その結果、健康な若年成人の場合、マスクを着用した状態で、暑い中での1時間程度の軽い運動や、20分のランニング程度では、着用していない場合と比べて運動後の体温の上昇に違いはみられなかったという。ただ、高齢者や子ども、既往症がある人に関するデータはなく、注意が必要という。

学会の横堀将司・日本医大教授は「『熱中症予防のためにマスクを外しなさい』というメッセージは、国民をミスリードする可能性がある。場面に応じて着用を判断し、(感染対策との)両立を考えてほしい」とした。